

## 作業所日記

山本竜一

作業所2階にて、紅茶の袋詰め、検尿セットの袋詰めなどの作業が進められています。しかし、いつもの慣れた作業のはずが、今日はどうも皆さんの様子が違います。なんだかそわそわしているよう。それもそのはず、今日は1月31日。同階の続きになっている部屋から、「よいしょー！よいしょー！」、ぺったんぺったん（時にドスン、ドスン）と、威勢のいい声と音が聞こえてきているのです。お餅つき大会です。



作業中のメンバーさんは、いまかいまかと自分の出番が気になりながらも、なんとか目の前の作業に集中しようと必死です。実は先述の作業の他にも、キャラクターが描かれた缶バッジを台紙に取り付けるという、初めて取り組む上に急ぎの作業があり、ここ数日はなんとか納期に間に合わせるために職員含め一生懸命頑張っているところだったのです。この作業、まず秀島さんや田沢さん、花房さんらの「袋出し隊」が缶バッジを袋から出し、これと並行して川口さんや毛利さん、青木さん達の「穴開け隊」が台紙にバッジを通すための穴を開けます。そして内藤さん、幸坂さん、松村さんら「取り付け隊」によりバッジが台紙に取り付けられ、水越さん、花田さんら「テープ貼り隊」が台紙とバッジをテープで固定、最後に職員が検品しつつ袋詰め、というチームプレイによって仕上げられていくのです。当初は「この量でこの納期はさすがに厳しいのでは…」という見立てもありましたが、メンバー丸となったの頑張りにより、無事に全数量を間に合わせる事ができました。

さて、この缶バッジ作業が無事に終わってほっとしたのも束の間、今度は扇風機の販売促進用



POP に両面テープを貼る作業を頂きました。この作業、単純明快でスイスイ進むかと思いきや、両面テープの取り扱いに苦心させられることとなります。この両面テープ、台紙にズラッと貼り付けられているものを1枚ずつ剥がして使用していくのですが、その際にテープと剥離紙（両面テープの貼り付け面でないほう）が剥がれてしまい、テープが使えなくなってしまう、という問題が発生しました。これを防ぐために、台紙の端を折ってテープを剥がしやすくしておくという作業が必要となり、しかも

この折る作業の際にも剥離紙だけが剥がれないよう注意を払わなければならず、思わぬタイムロスを食べる羽目に…。 そんな苦戦から始まったこの作業ですが、当初「これ難しいな…」なんて弱気な一面を見せていた今井さん始め、皆さんあっという間に慣れてしまい、翌日にはもうタイムロスなんて気にならないほど順調に進んでいきました。とはいえその背景には、葦の会作業所でもインフルエンザの猛威に見舞われ人手不足の中、人員配置に苦心しておりました。5人休んでいる状況が丸1週間程続きましたが、（インフルエンザで休んでいたのは数名ですが、…）手洗い・消毒のいつも以上の徹底によりなんとかそれ以上の蔓延は防ぎ、冬旅行までには患者はゼロとすることができ、一安心でした。